

事業評価書

補助事業名	松島飛行場関連公共用施設(交通施設:作田浦・月観14号線歩道整備工事)整備事業						
補助事業者名	東松島市長 渥美巖						
実施場所	東松島市小松字下浮足 地内外						
補助事業の成果の目標	本路線は、大曲地区と小松地区を結ぶ幹線道路となっており、本路線周辺には矢本東市民センターや大曲地区体育館の公共施設を含む東矢本駅北地区防災拠点がある。さらには、防災集団移転促進事業によって、近隣のあおい地区住宅地が整備されたことにより地区住民が増え、通行車両の往来が増えている。 また、本路線は小中学校の通学路にもなっているが、現状は歩道が無いため、路肩部を通行している現状である。特に通勤通学の時間帯には、歩行者、自転車及び通勤する車両が混在しており、通行量も増えるため、接触事故が発生するおそれがあり非常に危険な状態である。 加えて、災害時には避難場所となる防災拠点もあることから、地区住民から早期の改良が望まれている。 このため、本事業により歩道の新設とあわせて老朽化した道路を整備し、歩行者と通行車両の安全確保及び円滑化の向上を図り、周辺住民の生活環境の向上に寄与するものである。						
補助事業の内容	歩道整備工事 L=397.5m W=2.5m 実施設計 1式						
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和5年度まで						
事業費及び交付金額		R3年度	R4年度	R5年度			計
	事業費	円 10,098,000	円 61,931,000	円 58,177,900			円 130,206,900
	交付金額	10,000,000	61,931,000	47,109,000			119,040,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業について、沿線住民と当地区自治会長へのアンケート調査を行った結果、歩道設置前は回答世帯全員が通行時に「危険を感じていた」と回答があり、歩道整備したことで回答世帯全員から「歩道新設で歩行者の安全確保が図られた」との回答から、事業の一定の成果が認められたと評価する。 歩道整備前は、ほぼ全員が車両や歩行者とのすれ違いが危険だと感じており、歩道整備後は、車両と歩行者を分離したことで円滑な交通を確保されたことが施工前後の写真から確認ができる。 【地域住民への周知の実施状況】 当該路線整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることについては、市ホームページ及び広報誌に掲載し、住民説明会での配布資料への記載及び工事施工中の工事看板での掲示により地域住民への周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	市民の交通の利便性向上及び安全確保のため、市道の適切な維持管理を行う。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						